

早春を告げる荒尾のまつり、開催

～にしばるさん・こくんぞさん 春季大祭～

2月11日(金)に西原大神宮で、13日(日)に四山神社でそれぞれ春季大祭が行われました。

西原大神宮(にしばるさん)は、五穀豊穡・子どものすじひきつけ・子どもの健康と成長を願う神様とされていて、子どもを連れられた家族が多く参拝しました。

また、四山神社は商売繁盛・縁結び・交通安全の神様です。かつて虚空蔵菩薩が降臨したという言い伝えから「こくんぞさん」と呼ばれ、親しまれています。多くの人が参拝し、春の訪れを告げる祭りを楽しみました。



▲ 四山神社の沿道に立ち並ぶ露店。宵闇に浮かび上がる明かりと、おいしい匂い、行き交う人たちの笑顔。お祭りにわくわくするのは、今も昔も変わりません。

日頃の学びの成果を披露

～第26回荒尾市解放文化祭 開催～

2月12日(土)から15日(火)の4日間、人権啓発センターと児童センターで解放文化祭が開催されました。文化祭は人権・部落問題の1日も早い解決を目指して開催され、今年で26回目です。差別のない明るい社会づくりについて考える場となっています。

展示では、人権に関する作文ポスター・標語の展示など解放学習の成果の紹介が行われました。舞台発表ではカラオケ教室と日舞教室の皆さんが練習の成果を披露しました。飛び入り参加者も現れ、会場は笑顔に溢れました。



▲ 展示部門の生け花。ほかにもたくさんの作品が展示されました。

荒尾の「元気づくり」が結集。成果を発表

～第6回元気づくり交流会 開催～

2月20日(日)、あらかしシティホールで、第6回元気づくり交流会が開催されました。

第1部では、新しく参加した井手川地区元気づくり会による活動報告と、二小元気会による古着をリフォームしたファッションショーが行われ、参加者から盛大な喝采を浴びました。

また、第2部では特定非営利活動法人大牟田吉野街づくり委員会による先進事例の紹介が行われました。

今後のまちづくりの指針となる有意義な催しになりました。



▲ ファッションショー。着物をリフォームしてドレスに。堂々としたウォーキングに、視線が集まりました。